

サクランボ特報 No2

平成31年3月29日

JA中野市営農センター

JA中野市サクランボ部会

現状の生育進度は昨年並みと思われますが、今後の気象により変動します。

生育状況をよく確認し、適期作業と防除に努めましょう。

佐藤錦	平年	H28	H29	H30
発芽日	4/5	4/1	4/7	3/29
開花日	4/22	4/14	4/22	4/14

＊定期防除

- ・隣接する園地や他作物にかからないようにする。

散布時期：開花直前（4月中旬）

散布日 4月 日

散布量 ℓ

散布薬剤：水 100ℓ 当り
展着剤 10ml
オンリーワンフロアブル 50ml（収穫前日、3回）

散布量：10a 当り 350ℓ

適用病害虫：灰星病・炭そ病・黒斑病・褐色せん孔病

＊ハマキムシ類が発生する場合は、フェニックスフロアブル 4000 倍（前日、2 回）を加用する。

＊オンリーワンフロアブルに代えて、ベルコートフロアブル 2000 倍（7 日前、3 回）でもよい

＊凍害対策 本年も、昨年と同様に生育が早まると予想されます。

3月下旬の花芽が膨らみ始めた頃から開花前まで、低温遭遇時（-2.2℃以下で 30 分以上）の花器障害が心配されますので、園内の保温（燃焼資材デュラフレームの利用、加温設備のある園地では加温機の使用等）により対策を講じて下さい。

開花時に花器異常が確認された場合（貧弱花、めしべの欠落など）

＊健全な花を中心に人工受粉（相互交配）を実施し、結実確保に努めて下さい。

＊貯蔵花粉用の採花を行なう場合は、風船状の花を採るよう努めて下さい。

＊雨除けハウスで、訪花昆虫を利用する場合は、ハウスの屋根もしくはサイド面の網・ビニールを必ず開けておくようにして下さい。（放花昆虫保護のため）

次回特報発行予定：4/17（水） 落花後の薬剤散布